

デザイン

応募点数	45点	招待作品	22点
入賞点数	7点	展示点数	65点
入選点数	36点	移は移動展出品作品	

(総 評)

11月8日午後10時12分、ほろ酔い気分で松江駅前のホテルに帰り、明日の県展のデザイン審査のことを考える。浅酌とは言えこのような時に考えるとは不謹慎きわまりないと反省しながら、さて、明日の審査をどうする？と、酔っぱらいの我が身に問いかけた。島根県には過去一度しか来たことがなく、島根のことは何も知らないにもかかわらず、安易に県展の審査員を引き受けた。バチがあたったかな。神の国島根で神から私の審美眼が試されるということか、と覚悟した。

審査当日雨、叱咤の雨か激励の雨か。小雨に曇る宍道湖畔の審査会場で作品を目の前にして思った。う～ん！神の礼節にしたがおう。島根の作品に対し、まず「尊敬の門」から入り接しようとした。作品が何を語りかけ、私に何を教えようとしているか。敬意をもって無心に作品の声を聞くことから始めた。「島根のことやあなた（作品）のことを教えてください」

わかりやすさは良いデザインの一つの魅力だが、「わかる」ということは頭脳や理屈で理解するだけではない。かならずどの作品も何かを語りかけてくる。声が聞こえないのは作品の身の丈で接していない証拠だと反省する。神の声なんだから……。

審査の対象になった作品群は、たいへんバラエティーに富み、独創的で作者の強い念いがにじみ出ているものであった。一般的に地域資源の発信をテーマにするテーマ部門には、郷土に誇りをもった作品が多くなる。しかし自由部門の作品にも作者のあたたかな愛情に育まれ、表現対象を丁寧に観察して作られた骨太の作品が多いことが印象に残った。デザインは暮らしそのもの。暮らしの観察をしながら暮らしを楽しんでいる作者たちの姿が思い浮かぶ。作品は作者の鏡。作者も知らない深層の姿を見せてもらった気がする。

入選した作品の質は高く、これらの作品は、品格、個性、技術、感性、理解、印象、色彩、構成、発想、調和、機微、知性、社会、正義、疑問、新鮮、信頼、自然、衝撃、理性、風情、時代、愛情、風刺、ユーモアなど、デザインに必要な多面的な要素をうまくとりいれ表現した作品群である。本展で観賞の折には、どの作品が上記の要素を強く表現しているか、探していただくのも観賞の一つの愉しみになるかもしれない。

(文責 白木 彰／愛知県立芸術大学教授)

知事賞 移

注文の多い料理店

岡崎花歩 (出雲市)

モノトーンを上手に生かし、実に清楚で、品のある作品である。

主題に対して素直な取り組みから、デザイン的に工夫された、おもしろい文字や画面全体の構成の妙が生れた感がある。

アイデア・色彩・レイアウト 共に揃った完成度の高い秀作である。

(文責 寺尾 堂)

金賞 ⑧

ふくらむ

原 田 聖 子 (松江市)

インダストリアルデザイナー Jonathan Ive氏の言葉に「フォーカスグループはやりません。

現在の文脈から将来どうなるかを感じ取るのは、デザイナーの仕事です。……」があります。

グラフィックデザインに置き換える事ができます。

見えてこないオリジナルなイメージを、こうでなければならぬと思える形状、色彩、質感等で表すには、デザイナーとしての考え方が必要でしょう。

オリジナルなものほど難しいのは、参考にできるものがないからです。

原田さんのCG作品は、オリジナリティーに溢れた表現で、魅力的な作品と評価されました。

来年も優れた作品を見せて頂きたいと思います。金賞受賞おめでとうございます。

(文責 狩野 順)

銀賞 ⑨

故郷

増 原 公 夫 (出雲市)

棚田の美しさや見上げた大空の開放感で、日常のストレスや緊張感から、都会より訪れた旅人を開放する風景写真。この風景写真には母を思い出すような懐かしさが漂っている。都会で暮らす者からすると忘れかけた風景。

本作は一見すると写真の作品のようだが、白抜きの小さい文字を効果的に画面に配置することで、見るものに郷愁を感じさせる作品に仕上がっている。

デザインという仕事の中であって、写真が本来もっている表現としての素晴らしさを、改めて認識させられた作品である。

(文責 春日 謙一)

銀賞 ⑩

不思議の國しまね

漆 谷 優 里 (奥出雲町)

島根県の魚「県魚」に指定されている飛魚のアウトラインの中に文字を入れて構成してある。色彩も青系でまとめてあり、白い空間も生きているし、全体的にバランスが良い。

しかし、センターの「空泳ぐ魚の如く」のコピーは、無い方が良い。ともすれば、文字を入れたために、折角のデザインが台無しになる事すらある。ポスターなのか？ 広告なのか？ 明確に作らないといけないし、見る人に伝わらなくてはいけない。

でも、綺麗に仕上げているのが良い。作者の考えで飛魚のアウトラインが豊さを出すためにデフォルメしてあるかとも思える感もあるが、秀作である。

(文責 平江 透)

銅賞 ⑧

えいぞく がんぼう
永続への願望

たか はし まさ かず
高橋成和 (松江市)

永遠に続く円周率の数字を、黒字にカラフルな色と形のグラデーションで、永遠に続いていくかのように表現されている。それを螺旋状に並べることで、どこまでも続いていくように思わせている。

数字や文字を、既成の活字ではなく、あえて手作りで表現しているところに、作者のオリジナリティを感じる。また、素材から、何から何まで自分で選び、立体的に表現しているこだわりを感じる。

自分でデザインし、自分の手で楽しみながら作りあげることが、「ものづくり」の基本であり、作品のもつ暖かさにつながっていると思われる。(文責 奥 美奈子)

銅賞 ⑨

しま ね かんこう
島根観光PRポスター

ひ の さち こ
樋野幸子 (出雲市)

島根の町多古、海と山と人の町、多古を取材して美しい緑の山すそにひろがる海辺の町の風景写真を上部に配置、画面の下部には自ら取材、撮影した魚籠を控えめな色調で配置するというよく考えられた表現が良い。手書き文字による方言、「しまねまいもん」と地域表示図の構成が良い。

『目標や条件などのきっかけがないと発想もできず制作は進まない。0からものごとは生れないのである。質の高い制作には、ものごとを産む必然性がさらに必要になる。』

「デザイン屋の散歩道」白木 彰著 136頁より

観光ポスターに要求されるわかりやすさと美しい表現をうたいあげた、構成力豊かな、素晴らしい作品である。(文責 石野 眞)

銅賞 ⑩

みず
水でつながるまち

おお つか
大塚ともみ (松江市)

松江の名所、伝統行事、日常の風景、そして天候までもが水のしずくで繋がられている。地元の人びとにとっても松江の特徴を示す馴染みのあるものばかりではあるが、作者が一度自分のものとして消化し、再構築することによって、モダンな表現となっている。

ブルーを基調とする美しい色彩は、独創性があり、山陰の特徴でもあるどんよりとした空模様が、グレーの雲として水のしずくの上に重ねられ、新鮮さを増している。

コピーによって「繋がり」を大切にする松江の人々の温かさを表現しており、都会的な美しい観光ポスターに仕上がっている。(文責 内田 京子)

入 選

	題 名	氏 名	備 考
⑩	輝き	水 口 弘 幸 (益田市)	島根デザイン連盟奨励賞
	サピルナ	小 玉 榮 (益田市)	
	挑戦	松 島 基 輝 (出雲市)	
	真実	藤 原 由 里 (出雲市)	
	内なる冥き焔	岡 実智子 (出雲市)	
	君に懂れて	多々納 知 佳 (出雲市)	
	かたち、素材感、意味の関係	金 山 陸 美 (松江市)	
⑩	きっちゃん、キッチン。	渡 邊 萌 (松江市)	県外審査員特別賞
	知らないままで	佐 藤 由 梨 (奥出雲町)	島根デザイン連盟奨励賞
	パレード	増 原 玲 子 (出雲市)	
	記憶の断片小説	星 野 杏 理 (出雲市)	
	カミノチカラ・4	糸 原 加奈子 (雲南市)	
	貴方はどんな言葉を贈りますか？	吉 岡 さつき (安来市)	
	拍車	福 島 亮 太 (安来市)	
	人生は長いようで短い	近 藤 かおり (出雲市)	
	好きな席へどうぞ	岩 成 浩 行 (松江市)	島根デザイン連盟奨励賞
	お話しようよ	近 藤 顕 (安来市)	
	one day	細 田 果 那 (出雲市)	
	純真ノ雨	意 東 夏 樹 (鳥取県)	
	音	平 井 花 奈 (出雲市)	
	夢への軌跡	大 塚 翼 (出雲市)	
	刺激	山 本 琳 夏 (松江市)	
	涙	末 葭 由 衣 (鳥取県)	
	窓	石 田 真実子 (出雲市)	島根デザイン連盟奨励賞
	島根を駆ける	木 澤 昭 平 (奥出雲町)	
	ここにしかない景色	川 島 亜 実 (松江市)	
	イザナギ	下 山 嘉 真 (松江市)	
	創造するけん島根県	笹 木 世梨奈 (奥出雲町)	
	やらこい・しまね	青 戸 千 尋 (奥出雲町)	島根デザイン連盟奨励賞
	夢	大 森 一 史 (奥出雲町)	
	縁結び	来 島 杏 美 (松江市)	
	和の島根	有 田 圭 宏 (鳥取県)	
	巡り	西 尾 大 智 (出雲市)	
	閃光	星 野 泰 範 (出雲市)	
⑩	出雲星座	寺 本 怜 央 (松江市)	県外審査員特別賞
	しじみ汁	恩 田 な み (雲南市)	

招待

	題名	氏名	備考
	おとのかたち	石野 眞 (松江市)	
⑩	GAHAN2014-11 〈TAXI〉	寺尾 堂 (益田市)	
	キリギリスの思惑	奥原 直夫 (松江市)	
⑩	PEACE	寺戸 良信 (松江市)	
	イラストレーション	遠藤 毅 (雲南市)	
⑩	PARFUM NIGHT・II	小原 恭子 (松江市)	
	Life between life	内田 京子 (奥出雲町)	
	銀河鉄道の夜	奥 美奈子 (大田市)	
	地面効果翼機 MA-0 7th	春日 謙一 (松江市)	
	2014-C	狩野 順 (松江市)	
	なつかしい街を歩く	近藤 隆 (安来市)	
	Recollections of Summer	錦織 秀行 (松江市)	
	ロゴT-1 LAFCADIOはあ〜ん!?	平江 透 (松江市)	
	ロゴT-2 セキノゴホン松	平江 透 (松江市)	
	忘れがたき故郷 (野緑江から引揚者が故郷へ)	増田 竹男 (松江市)	
	いのちの境界	秋國 紋子 (出雲市)	
	れもん色	稲田 通子 (安来市)	
	想	加納 江里子 (安来市)	
	HIBIKI	品川 良樹 (松江市)	
⑩	primitive	柳 楽武臣 (出雲市)	
	Cloud	原 真人 (雲南市)	
	調和した町	山川 房子 (安来市)	